

# SPECIAL TALK

## アントレプレナーシップ講座

成功する創業者・失敗する創業者～  
クラウドファンディングの活用と合わせて～

株式会社 ACT NOW 代表取締役 杉山 央氏

クラウドファンディングとは「不特定多数の人からインターネット経由でお金を集めること」

クラウドは群集(crowd)、ファンディングは資金調達(funding)の意味。近時、新たな資金調達方法として注目を集めています。北海道初のクラウドファンディング運営会社である株式会社 ACT NOW 代表取締役 杉山央氏に、成功する創業者・失敗する創業者の考え方を、クラウドファンディングの活用と合わせて語っていただきました。

印象的だった言葉として、問題に対して「成功」と「失敗」の2つの選択肢しか持たない創業者は、最終的に失敗する創



株式会社 ACT NOW

2015年創業 北海道初のクラウドファンディングサービスを提供するサイト「ACT NOW」を運営。

社会的に広げたい面白いアイデアを持つ北海道の起業家に対し、新たな資金調達の方法としてクラウドファンディングの活用で起業支援を行い、株式上場まで到達する北海道発の企業を生み出すことを目標をしている。



# NEWS

北海道信用保証協会からのお知らせ

### 創業者向けセレクトセミナーを開催しました！

北海道信用保証協会では、2月13日(月)から2月24日(金)の期間において、これから起業を考えている方、起業後5年以内の方を対象とした、創業者向けセレクトセミナーを開催しました。期間中5回のセミナーを開催し延べ147名にご参加いただきました。

今後も創業者向けセミナーを開催する予定です。詳細が決まりましたら、当協会ホームページまたは、北海道信用保証協会 創業支援チームフェイスブックページでお知らせします。



START-UP! BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL VOL.010

発行人 北海道信用保証協会 業務部 企業支援課  
札幌市中央区大通西14丁目1 TEL. 011-241-5605  
<http://www.cgc-hokkaido.or.jp/>

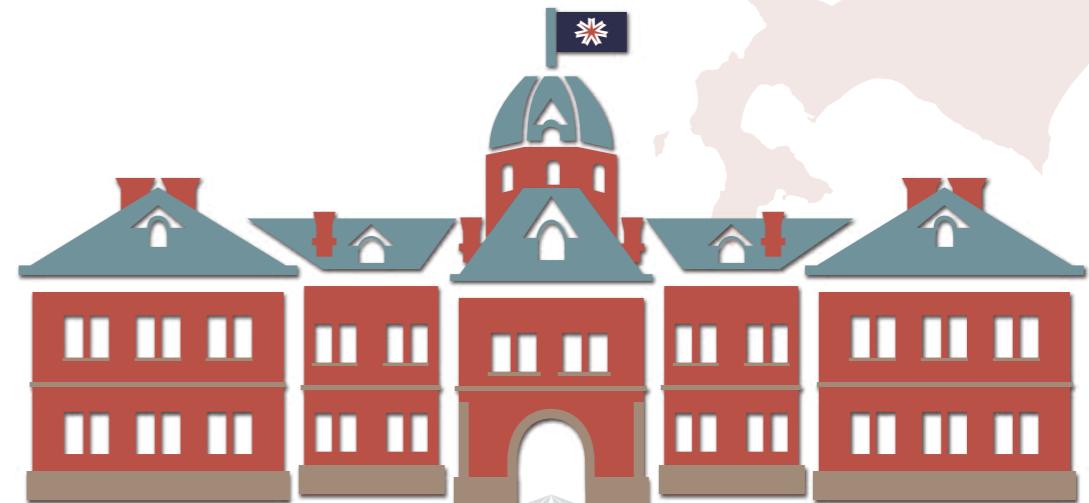


2017.3.27

START-UP! VOL.010 TAKE FREE

# BSTJ

BUSINESS SUPPORT TEAM JOURNAL



## 北の大地を大学連携で結ぶ



小樽商科大学  
Otaru University of Commerce



公立はこだて未来大学  
Future University Hakodate



帯広畜産大学  
Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine



北見工業大学  
Kitami Institute of Technology

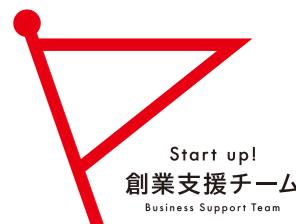
## EVENTS REPORT

### 北の四大学 ビジネスプラン発表会 2016

- 北の大地を大学連携で結ぶ -

北海道信用保証協会では、小樽商科大学グローカル戦略推進センター・産学官連携推進部門と共に、北海道内の4つの国公立大学の学生によるビジネスプラン発表会を開催しました。

## SPECIAL ISSUE



# 北の四大学ビジネスプラン発表会2016

-北の大地を大学連携で結ぶ-

2016年12月17日 (SAT)

④北海道庁旧本庁舎(赤れんが庁舎)2階 2号会議室

主催:小樽商科大学グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門、北海道信用保証協会

共催:公立はこだて未来大学、北見工業大学、帯広畜産大学、

経済産業省北海道経済産業局、北海道、(公財)北海道中小企業総合支援センター

総合司会 鈴木 朝子(エム・フォーナ)氏

## ■プログラム

主催者挨拶 小樽商科大学長 兼 小樽商科大学グローカル戦略推進センター長 和田 健夫  
創業支援の取組みについて 北海道信用保証協会 常務理事 高橋 義典

## Business Plan Presentation

小樽商科大学 OUC Naviとサイネージを合わせたビジネス展開の状況と課題

公立はこだて未来大学 もえもえデジタルサイネージ2016  
~もっとエモーショナルもっとエンタテイメントなキャンパスライフを~

北見工業大学 黽雑(KCLOSS):北見工大生活補完計画 第弐章  
~零号版発信、工大生の工大生による工大生のための何か、~

帯広畜産大学 つながるツナギのネット&ワーク  
~農家バイト一括管理システムの構築~

## Special Talk

株式会社 ACT NOW  
代表取締役 杉山 央氏



## 北の四大学 定山渓合宿 2016年9月5・6日

### 小樽商科大学、公立はこだて未来大学、 北見工業大学、帯広畜産大学の4つの大学が 一堂に会し、新しいビジネスモデルを考える!

道内4つの大学から学生20名と教員7名を含む総勢34名が札幌市定山渓に集合し、1泊2日の合宿を行いました。合宿では、創業セミナーとして小樽商科大学の北川准教授からビジネスモデルキャンバスを用いた手法について講義があり、その後、「福祉」、「教育」、「観光」、「農業」の4つのテーマに分かれ、新たなビジネスモデルを考えました。

2日目はプレゼンテーション。各チームでまとめたビジネスモデルを発表しました。

「福祉」チームは、障害者・高齢者が持つスキルを活かし社会進出を図るビジネス。

「教育」チームは、就職が内定した大学4年生を対象とした英会話スクール。

「観光」チームは、VR(バーチャルリアリティ)を利用した道内観光客の増加を図るビジネス。

「農業」チームは、農業体験ツアー、農業バイトの紹介、婚活ツアー等を企画するサイト運営を考案しました。

どのチームからも社会の課題とニーズを的確に捉えた面白いアイデアが出されました。



## PURPOSE 開催目的

小樽商科大学グローカル戦略推進センター産学官連携推進部門と北海道信用保証協会では、下記を目的として北の四大学ビジネスプラン発表会2016を開催しました。

- ①道内の専門分野の異なる四大学の交流により、学生の多様な価値観や社会性の向上を図ること。
- ②各々の研究を起業という観点で考えることで、若者や学生の創業マインドの醸成につなげること。
- ③産学官連携により創業者の育成を図ること。



## 開催にあたって

北海道信用保証協会と連携して始めた「北の四大学ビジネスプラン発表会」の目的・意義は2つあると思います。

1つは、異なった分野で学ぶ学生との異分野交流です。知識や理論を学ぶだけでなく、教室の外で様々な体験をすることも将来にとって大変重要なことです。とりわけ、異なった分野の人との出会い、自分の知らない分野で活躍する人との対話の機会をもつことは、僅かな時間かもしれませんが、必ず、記憶に残り、将来仕事の上で、何か判断しなければならなくなるとき、思考や行動のヒントを与えてくれると思います。

2つめは、学生諸君に、起業、ビジネスに対する意識・関心をもってもらうことです。参加したすべての人が起業するとは限らず、また簡単にできることでもありませんが、少なくとも、そのようなマインドを身につけていることが、将来仕事をする上で、必ず役に立つことがあります。北海道経済を支える活動につながるのではないかと考えています。

小樽商科大学長 兼 小樽商科大学グローカル戦略推進センター長 和田健夫

## GRANPRIX



## 優秀賞は帯広畜産大学が受賞!

<ビジネスプラン概要>  
「つながるツナギのネット&ワーク～農家バイト一括管理システムの構築～」の提案 (詳細は6ページ)



講評:審査委員長 北海道信用保証協会 業務部 部長 栗山 敬康

- ・実際の農家バイトの体験に基づき、農家と学生の双方が持つ課題に着目し、それを解決する方法をビジネスに応用する発想がユニーク。
- ・帯広畜産大学の学生に対しアンケートを行っており、数字的な裏づけもある最も論理的なプレゼンテーション。
- ・今後の地域貢献の広がりも期待できるビジネスプランと言える。

審査員:経済産業省北海道経済産業局 地域経済部産業技術課産学官連携推進係長 藤江 稔氏  
北海道経済部地域経済局中小企業課 課長 竹縄 維章氏



## OUC Navi とサイネージを合わせた ビジネス展開の状況と課題

発表者:祐川 泰輝・大門 拓史・戸嶋 咲穂・西野 哲生 サポート教員:木村 泰知

### ビジネスプラン概要

小樽商科大学のチームは、株式会社SEA-NAの代表取締役でもある4人が「OUC Naviとサイネージを合わせたビジネス展開の状況と課題」というタイトルで発表しました。OUC Naviとは、SEA-NAが運営している小樽商科大学の学生向けのスマートフォン用のウェブサイト(<http://m.al.otaru-uc.ac.jp>)です。OUC Naviは、毎日800人(2,800ページビュー/日)程度がアクセスするサイトであり、半分以上の学生に利用されています。また、小樽商科大学のデジタルサイネージは、図書館前や大学生協前に設置されており、SEA-NAが管理しています。発表では、上記のウェブサイトとデジタルサイネージを組み合わせたビジネスプランに加えて、実際のビジネスへ展開した結果について説明しました。発表は、ビジネスの「プラン」より「実現可能性」を重視しました。実現可能性の重視とは、ビジョンあるいは目標の「達成する期日」を意識することです。特に、学生は、社会人が考えているよりも時間がありません。例えば、卒業までの時間を全て利用できるわけではなく、大学3年生の後半から就職活動が始まることを考えれば、数ヶ月で軌道にのせる提案をしなければ、実現しないことになります。また、実現するためには、ウェブサイトやデジタルサイネージを管理する責任に加えて、信頼関係を築く必要があり、迅速な対応を意識しました。具体的には、本大学の同窓会グループ「緑丘会」との打ち合わせのメールおよび電話の対応を迅速にしており、その内容について報告しました。他にも、SEA-NAは日頃から「教職員や学生からの掲載依頼」や「不具合」などの対応を学業の合間にしていることから、学業と両立できる可能性や保守や管理のコストも踏まえて説明しました。



### サポート教員紹介

木村泰知 小樽商科大学 商学部 社会情報学科 [kimura@res.otaru-uc.ac.jp](mailto:kimura@res.otaru-uc.ac.jp)

小樽商科大学では、現役大学生が運営する「株式会社SEA-NA」の起業や運営のアドバイスをしている。研究分野は、情報工学分野であり、人工知能や自然言語処理を専門としている。具体的な研究テーマは、地方議会会議録を対象にした情報抽出に関する研究、対話システムの研究、オノマトペの分析などを行っている。下記は関連サイトである。

木村ゼミ <http://minna.ih.otaru-uc.ac.jp> 対話 <http://www.radiobots.link>

地方議会 <http://local-politics.jp> オノマトペ <http://ono-collo.com>



## もえもえデジタルサイネージ 2016 ～もっとエモーショナルもっとエンタテイメントなキャンパスライフを～

発表者:生櫻 涼・高村 志穂・樋口 梨花・藤谷 大輔 サポート教員:田柳 恵美子・竹川 佳成

### ビジネスプラン概要

もえもえデジタルサイネージは、3年生全員必修の実践型授業「プロジェクト学習」の一環として実施されたもの。「もえもえ」とは、もっとエモーショナル、もっとエンターテイメントの略です。メンバーたちは、学生間の情報共有やキャンパス内のコミュニケーションに、まだまだ改善すべきことがあるという問題意識から活動をスタートさせました。はこだて未来大は情報系の単科大学で、専門である情報技術や情報デザイン、認知科学などの知識をベースに、デジタルサイネージ(デジタル掲示板)の活用可能性を広げ、コミュニケーションを活性化させること、にぎわいを創出することなどを目標に掲げました。

今年度は、プロジェクトマッピングの技術を用いて、デジタルサイネージを平面から空間へ拡張するプロジェクトをビジネスプランの題材としました。具体的には、グランドピアノのボディやその周辺環境に、プロジェクトマッピングの技術を用いて立体的に映像を投影、演奏と映像がインタラクティブに反応するなどのコンテンツ演出を可能にする「ピアノプロジェクトマッピング」システムの開発に取り組みました。

大学内の工房で演示会を開催し来場者にアンケート調査を実施、その魅力や効果、課題を検証しました。さらに函館市の公共施設「はこだてみらい館」への実装提案を想定し、運営担当者へのヒアリングを行い、同館の大型高精細ディスプレイとの連動や、聴衆の動きとのインタラクティブな反応などのアイデアを加えたプランを立案しました。



### サポート教員紹介

田柳恵美子 公立はこだて未来大学 社会連携センター [tayanagi@fun.ac.jp](mailto:tayanagi@fun.ac.jp)

専門は情報社会論、知識科学。社会連携センター長として、大学と社会との関係形成にも取り組んでいる。

教員紹介 [http://www.fun.ac.jp/research/faculty\\_members/emikotayanagi/](http://www.fun.ac.jp/research/faculty_members/emikotayanagi/)

竹川佳成 公立はこだて未来大学 情報アーキテクチャ学科 [yoshi@fun.ac.jp](mailto:yoshi@fun.ac.jp)

専門は芸術工学。音楽などの技能熟達や学習支援システムの構築とその認知的メカニズムの研究に取り組む。

教員紹介 [http://www.fun.ac.jp/research/faculty\\_members/yoshinaritakegawa/](http://www.fun.ac.jp/research/faculty_members/yoshinaritakegawa/)



# 北見工業大学



## 黎 雛(KCLOSS)：北見工大生活補完計画 第式章 ～零号版発信、工大生の工大生による工大生のための何か。～

発表者：江頭 泰陽・岡村 慎・黒田 英慈・中埜渡 祥浩・畠山 鈴生 サポート教員：樹井 文人

### ビジネスプラン概要

昨年の同発表会では、北見工業大学の新入生をターゲットとして彼らのキャンパスライフを支援する情報発信サービスについて発表しました。具体的には、学生が利用しそうな地域店舗情報を収集してデータベース化し、そのデータベースをクラウド上に置いて利用する二種類のアプリケーション（地図上に店舗情報や経路を表示するマップアプリと店舗のお得情報や訪問レポートを逐次配信するツイートアプリ）を設計しその運用プランを立てたものです。

今年度は、昨年発表したプランが計画通り試験運用を開始し、PDCAサイクルを通じてサービスの完成度を上げていく段階になりましたので、その経過を発表しました。最新のモニター調査ではほぼ実用レベルに達しており、サービスに対する期待度も高いという結果が得られ、小規模ながらも学術面・実用面で通用する「情報工学」の成果として姿を現しつつあると思います。

学生達も試行錯誤を繰り返しながら協力して一つのサービスを創出して行くという作業を体験し、個々が大きく成長したこと成果だと思います。

このプランは、将来的には「オホーツク圏観光ビッグデータ共有基盤」のフィージビリティスタディとして発展させることを狙っています。ゴールはまだまだ遠いですが、一步一步楽しくしっかりと着実に取り組みを進めていきたいと思います。



### サポート教員紹介

樹井文人 北見工業大学 工学部 情報システム工学科 f-masui@mail.kitami-it.ac.jp

大学で地球化学を専攻し、卒業後は沖電気工業で自然言語処理の研究開発プロジェクトに参画。以来、主戦場を情報科学分野に移し、三重大学を経て現在北見工業大学准教授。博士（工学）、理学士。最近はカーリング情報学、観光情報学も手がける。北見工業大学冬季スポーツ科学研究推進センター研究員。

[http://orion.cs.kitami-it.ac.jp/tipwiki/tip\\_home\\_](http://orion.cs.kitami-it.ac.jp/tipwiki/tip_home_)



# 帯広畜産大学

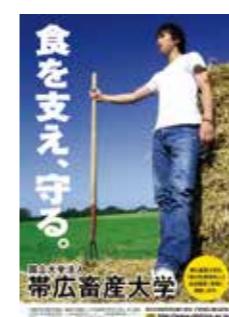


## つながるツナギのネット&ワーク ～農家バイト一括管理システムの構築～

発表者：阿部 拓馬・猪部 美穂・内田 健太・逢坂 きらら・吉田 総一郎 サポート教員：村田 浩一郎・河野 洋一

### ビジネスプラン概要

本学学生の普段の生活に欠かせない「農家バイト」は、9割近くの学生が経験しており、本学では最もメジャーなアルバイトです。その特徴は、シフト管理が月単位ではなく週単位であり（おそらく天候等の影響を加味）、労働力の確保は「伝手（つて）」が中心で行われているという部分です。そこには、農家と本学学生との歴史と温かみのある人間関係によって形成されてきた「信頼」が生きているため、学生はその信頼を裏切らないよう、バイトの枠は自分たちのコミュニティ内で代々受け継ぐという形をとっています。いい部分がありつつも、そのシステムの問題点は、シフト管理学生の苦労が多いという点です。特に、本学テスト期間と収穫が重なる夏期は、躍起になってシフトを埋めようとするシフト管理学生にとって、余計に辛い汗をかく時期だと言えます。また、農家間での情報共有が少なく、仕事内容や賃金の公開がないため、学生が仕事を選択しにくいこともあります。そこで、農家バイト情報を収集し、ウェブサイトやアプリでシフト管理・求人・作業内容・レビューを一括管理することを提案しました。メイン顧客は農家であり、学生は少額で登録できるものを考えています。農家に対するネガティブレビューばかりが集まる事によって信頼関係を崩壊させないために、ネガティブレビューは別の形で収集し、レポートとしてまとめて提供する工夫をしています。さらに、逆にポジティブレビューについてはブログやSNS等で表出させ、農業振興にも寄与していくことをイメージしています。発表会当日にいただいた意見を追加し、次の段階は「失敗してもよい」というクラウドファンディング（杉山社長談）への挑戦を目論んでいます。



### サポート教員紹介

村田浩一郎 帯広畜産大学 人間科学研究部門 自然科学・体育学分野 murata@obihiro.ac.jp

専門は地域スポーツ学。専門種目は体操競技で、日本オリンピック委員会強化スタッフ。

総合型地域コミュニティ「ちくだいKIP」を創設。夢は、スポーツで人の幸せをアシストすること。

河野洋一 帯広畜産大学 地域環境学研究部門 農業経済学分野 kawano@obihiro.ac.jp

専門は農業経営学、経営者能力論。

帯広畜産大学が取り組む学生主体による地方創生事業である「十勝カレッジSILQ」の運営を担当。

